

## 勝興寺/大広間及び式台

大広間は、勝興寺に現存する最古の建造物であり、1653 年に建立されました。大広間は、儀式や会合等大きな集まりに使用されました。住職はおそらく、この場所で勅使や地元大名の当主たちと出会っていたことでしょう。大広間の一番奥には、床が一段高くなった小部屋があり、その一部が立派な簾で隠されています。ここは、訪れた貴人たちが座っていたと思われる場所です。

大広間の主たる部屋は約 225 平方メートルの広さで、地方の寺院としては異例の広さです。現在の大きさに拡張されたのは 18 世紀、寺院の威信が最高潮に達した頃です。客席は畳の列を増やして拡張され、待合室を備えた別の玄関広間（式台）が建設されました。大広間と隣接する玄関広間は国宝に指定されています。